

三の丸だより

JSDF IBARAKI Provincial Cooperation Office

発行所
自衛隊茨城地方協力本部

募集課広報班

水戸市三の丸3丁目11番9

tel (029) 231-3315

新年のご挨拶
自衛隊茨城地方協力本部
本部長 1等陸佐 野口 紀幸

明けましておめでとうございます。三の丸だよりの読者の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げますとともに、旧年中に賜りましたご厚情・ご支援に対しまして、深く御礼申し上げます。

烏兎忽忽(うとそうそう)。時の経つのは早いもので、本部長として着任して既に5ヶ月が過ぎ、令和元年も過ぎ去りました。また4度目となる年男(ねずみ)をここ地元茨城県(28年振りに帰郷)で迎えることになりました。

さて、わが国を取り巻く安全保障環境はどうでしようか。皆様が想像している以上(ねずみの逃げ足よりも)に極めて速いスピードで変化し、国際社会のパワー・バランスの変化は加速化・複雑化し、既存の秩序をめぐる不確実性は増大しています。また国内では、ここ数年自然災害が断続的に発生しており、昨年は台風が次々と列島を襲い、ここ茨城県においても、台風15号、19号等の影響により甚大な被害をもたらしました。このような中、防衛省・自衛隊は、平素から情報収集、警戒監視、訓練・演習等を継続的に実施するとともに、各種事態等に対しても迅速・的確に対応して参りました。我々地方協力本部も地元自治体・企業等と連携しつつ、自衛隊の活動の基盤となる募集・援護等を軸に任務を遂行して参りました。

本年は、新たな防衛計画の大綱の下、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域での活動も視野に入ります。「多次元統合防衛力」を構築するための重要な年となります。我々地方協力本部は、これらの改革の推進力になります。我々地方協力本部は、これらの改革の推進力となり得るべく優秀な人材の確保に努めなければなりませんと認識しています。また、これまでの辛く厳しい自衛隊の歴史を支えてくれた退職予定隊員が安心して次へのステージへ進むことができるよう、雇用企業等の皆様のお力添えを頂きながら、就職援護業務等にも取り組んで参ります。

少子化・高学歴化等の厳しい募集・就職援護環境の中、我が国の平和と安全の維持、国民の生命と財産、そして領土・領海・領空を守り抜くために必要な人材等を確保すべく、茨城地方協力本部一丸となつて、「共に」「挑戦」しつつ、皆様とともに任務完遂に邁進する所存です。年頭にあたり、皆様のご健勝をご多幸をお祈り申し上げますとともに、これまで以上に自衛官の募集、退職予定隊員の就職援護等に関しまして、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年男



総務課



募集課



援護課



日立出張所

初志貫徹



水戸募集案内所



土浦地域事務所



龍ヶ崎地域事務所



筑西地域事務所



百里分駐所



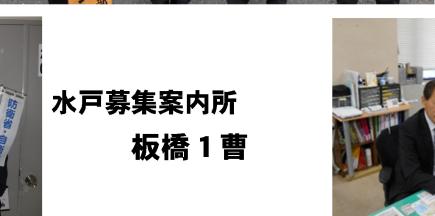
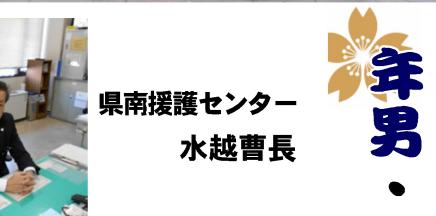
県北援護センター



県西援護センター



県南援護センター

募集課
中村3曹援護課
菊地1曹水戸募集案内所
板橋1曹県南援護センター
水越曹長

年男・年女の抱負
年男
年女

早いもので5回目の年男を迎えた。充実した毎日を送っています。入隊した頃に50歳代の先輩は、えらい年寄りに見えたものですが、いざ自分がその年代、更に60歳になろうとしている今、若い方々からは相当年寄りに見えることでしょう。(笑)
少しすつ身体は衰えて行きますが、いつまでも初心を忘れず、気持ちだけは若いつもりでもう少し頑張ります。

半年前、茨城地本所属になり、そして今は年女！人生の転換期？を真摯に受け止め、加齢を嫌がらず(涙)、人との出会いに感謝「ありがとう」を忘れず日々を過ごしていきたいです。

半年前、茨城地本所属になり、そして今は年女！人生の転換期？を真摯に受け止め、加齢を嫌がらず(涙)、人との出会いに感謝「ありがとう」を忘れず日々を過ごしていきたいです。

疲れを感じる今日この頃ではありますが、健康第一！感謝の気持ちを忘れず仕事に子育てに頑張ります。

4回目の年男を迎えた。疲れた感じる今日この頃ではありますが、健康第一！感謝の気持ちを忘れず仕事に子育てに頑張ります。

早いもので、3度目の年男を迎えました。募集課も2年目となり、より地本での業務に貢献できるよう努力し、趣味のサイクリングレースでも充実した時を過ごして行きたいと思います。



茨城県防衛協会 会長 関 正 夫

皆さまにおかれましては、輝かしい新年あけましておめでとうございまして

我が国を取り巻く安全保障環境は、北朝鮮のミサイル発射などの挑発行為や、

中国の周辺空海域における不審な活動など、一層厳しさを増しております。こうした中、自衛隊におかれましては、国の平和と安全を守るという重責を担い日夜任務に精励されており、また、昨年の台風19号などの被災においても、献身的な復旧活動を行うなど、自衛隊は、地域になくてはならない存在であり、県民の信頼と期待は益々高まっています。

当機会にして、引き継ぎ自衛隊への支援活動と、自衛隊訓の普及・高揚を強力に推進し、茨城地方協力本部の充実発展に貢献できるよう力を尽くしてまいります。

結びに、茨城地方協力本部並びに県内の各自衛隊、自衛隊協力団体の益々のご発展と、関係皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申しあげ、新年のご挨拶と致します。

茨城県自衛隊除隊者雇用協議会 会長 榎谷定俊



茨城県隊友会
会長 長島修照

三の丸だより、愛読の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は令和への御代替わりがあり、天皇の御盛儀は世界中の注目を集めました。

他方、令和の時代は、我が国の安全保障上の危機と人口減少、加えて大規模災害人」であることを誇らしく思いました。ご同慶の至りです。

自衛隊としては、常態化するハイブリッド戦で現行憲法が足枷となり、労働人口の減少により隊員の確保は困難性を増し、大規模災害派遣が頻発すれば練成訓

茨城県隊友会は、新防衛計画の大綱に退職自衛官の活用が初めて方針として示されたことも踏まえ、引き続き、憲法改正運動をはじめ、地域社会に密着した活動を通じて自衛隊の任務遂行基盤の整備に貢献して参る所存です。



茨城県防衛大学校学生父母会 会長 牧野 雅彦

茨城地方協力本部の皆様 協力団体の皆様におかれましては、お健やかに佳き新春をお迎えのことと存じます。
日頃より茨城県防衛大学校学生父母会の活動にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本会は、昭和五十年十月に設立し、本年に創立四十五周年を迎えます。今後も私どもは、防衛大学校の教育目的を認識し、学生を激励し健全な育成に側面から協力することを目的として活動してまいります。



茨城地方協力本部OB会
会長 吉岡昭彦

**茨城地方協力本部OB会
会長 吉岡昭彦**

新年あけましておめでとうございます。

茨城地方協力本部の皆様、協力諸団体の皆様、そしてOB会の皆様並びにご家族の皆様におかれまして

は、お健やかに新年を迎えたことを心よりお喜び申し上げます。昨年は、新年号『令和』のはじまりの年、茨城地本『野口丸』出航の年でもありました。

我がOB会も、「茨城地本の協力団体として、これから時代に如何に貢献していくか。」を課題として活動してきました。まだまだ課題の回答は出ていませんが、令和二年は「実行の年」



茨城地方協力本部後援会 会長 江橋忠芳

茨城地方協力本部後援会
会長 江橋 忠芳

新年あけましておめでとうございます。
皆様に於かれましては、お健やかに新年を迎えられ
たことと、心よりお喜び申し上げます。



高等工科学校茨城県保護者会 会長 矢代久

新年明けましておめでとうございます
茨城地本の皆様におかれましては、お健やかに新年
迎えられた事、心よりお慶び申し上げます。

一年を振り返って

総務課

4月 だるまの目入れ式

各課および各所等の連携を強化し、地域と共に一致団結し、情熱と創造を持って各種施策に積極的に取り組み、目標の達成について祈願しました。



6月 自衛隊茨城地方協力本部長感謝状贈呈式

平成30年度に茨城地方協力本部に対し、部務運営および防衛基盤の育成に貢献された個人および団体の方々へ、感謝状を贈呈いたしました。



募集課

3月 茨城県自衛隊入隊・入校激励会

茨城県防衛協会主催、各協力団体協賛による茨城県自衛隊入隊・入校予定者激励会を協力支援しました。



7月 市街地広報

水戸駅では本部員総員で通勤・通学中の方々に、自衛官募集中をアピールするため、ティッシュ配りを行いました。



7月 艦艇広報

大洗港において護衛艦「ゆうぎり」による艦艇広報を行いました。県内各駐屯地の支援による装備品展示や百里救難隊による人命救助の展示を実施し、約7千名の来場者がありました。



7.8月 茨城地方協力本部長離着任行事

令和元年7月31日に1等陸佐山下慎一本部長の離任行事、令和元年8月1日に1等陸佐野口紀幸本部長の着任行事をそれぞれ東方総監部行政副長等の立会のもと、執り行いました。



9月 第74回国民体育大会

第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」の開催にあたり、自衛隊が行なう支援について、県の担当者および各部隊と綿密な調整を行い、国体の開催・運営に寄与いたしました。



10~12月 令和元年版防衛白書説明

10月～12月の間、県をはじめとする自治体に対し、防衛省の各種施策について理解を深めてもらうと共に更なる信頼関係の強化を図ることを目的とし、防衛白書説明を行ないました。



8月 県知事へ防衛大学校学生が帰郷訪問

茨城県出身の防衛大学校学生5名が県知事を訪問し、帰郷報告を実施しました。



2.5.11月 体験搭乗

霞ヶ浦駐屯地（2月・11月）、百里基地（5月）において、体験搭乗が行われました。



7~9月 各種説明会

勝田、土浦、霞ヶ浦駐屯地及び百里基地において募集対象者やそのご家族に対し、説明会を行いました。



援護課・予備自室

2月 防災監等会同

本部において、防災監等会同を実施しました。

本会同には、茨城県内各自治体防災組織に在職する元自衛官とこれから自治体防災組織に再就職を予定する自衛官が参加し、防災・危機管理に関する様々な意見・情報交換がなされました。



2月 予備自衛官5日間招集訓練

勝田駐屯地において、30年度最後の予備自衛官5日間招集訓練を支援し、67名が出頭しました。

3月 予備自衛官等協力事業所表示制度認定表示証交付

予備自衛官等協力事業所表示制度に係る大臣表示証を1社、地本長表示証を2社に交付し、更なる関係の構築に努めました。



4月 援護会同の実施

勝田・霞ヶ浦・古河駐屯地において、駐屯地援護担当者会同及び中隊長・課長等援護会同を実施しました。

会員では、各部隊援護担当者及び各部隊中隊長等に対し、当年度の就職の援助に資する施策等を周知するとともに、自衛官募集・予備自衛官等採用について協力を依頼しました。



5月 予備自衛官1日間招集訓練

勝田駐屯地において、本年度1回目の予備自衛官1日間招集訓練を実施し、新規採用の予備自衛官19名が参加しました。



6月 自衛隊退職予定隊員就職連絡会議

勝田駐屯地において、自衛隊退職予定隊員就職連絡会議を実施しました。

本会議は、茨城労働局、公共職業安定所、(一財)自衛隊援護協会及び自衛隊との間で就職の援助及び自衛官募集について連絡調整を図りました。

また、勝田駐屯地の見学を実施し、参加者は自衛隊の任務・役割について理解を深めていました。

5月 任期制隊員ライフプラン集合訓練

勝田・霞ヶ浦・古河駐屯地において、任期制隊員ライフプラン集合訓練を実施しました。

訓練に参加した隊員は、外部講師によるライフプランの立て方、キャリア開発等について教育を受け、人生設計について真剣に検討していました。



7月 予備自衛官補辞令書交付式

本部において、予備自衛官補採用者28名中5名に対して辞令書を交付致しました。この際、予備自衛官補制度説明及び身上(心情)把握を行い、訓練出頭に対する不安感の払拭を図るとともに、訓練参加意欲の向上を図りました。



7月 茨城県任期制隊員合同企業説明会

土浦市内において、(一財)自衛隊援護協会主催による茨城県任期制隊員合同企業説明会を実施しました。

説明会に参加した任期満了退職予定者らは、積極的に企業ブースを訪問し、企業からの説明を受けていました。

また、予備自衛官等ブースを開設し、制度の普及に努めました。



8月 予備自衛官等雇用企業訪問

即応予備自衛官雇用企業1社に対し企業訪問を実施し、予備自衛官等制度への理解を得るとともに、即応予備自衛官が出頭しやすい勤務環境作りへの協力を依頼しました。



10月 台風19号に起因する災害による予備自衛官等災害派遣招集

台風19号がもたらした災害により、茨城地本管理の予備自衛官及び即応予備自衛官が招集され、各被災地にて活動を致しました。



11月 定年退職予定者就職援護教育

霞ヶ浦駐屯地において、令和元年度茨城県定年退職予定者就職援護教育を実施しました。

